

一人一人の「今」を大切にしながら

視覚障害教育部門 副校長 若林加奈子

4月に入学・進級した子供たちも、1か月が経ち、新しい学級や先生、学校生活のリズムに少しずつ慣れてきました。はじめは緊張した表情が見られた子供たちも、日を追うごとに安心した様子で活動に取り組み、自分なりのペースで学校生活を送る姿が多く見られるようになってきています。一方で、新しい環境の中で一生懸命に頑張ってきた疲れが出やすい時期でもあります。連休は、心身の調子を整えながら、ゆったりと過ごしていただければと思います。

さて、5月13日(水)から、今年度1回目の個人面談を予定しています。個人面談では、担任より年間指導計画や個別指導計画を提示し、学校で大切にしていきたいことや、お子様の伸ばしていきたい力について、丁寧に共有していきます。個別指導計画は、お子様一人一人の実態や生活、学びの様子を踏まえ、「どのような力を育てていくのか」を具体的に示したものです。一つ一つの「できた」という経験を積み重ねることで、自信や意欲につながり、「やってみよう」「やればできる」という気持ちを育てていくことを目指しています。

また、個人面談では学校生活支援シートの作成も行います。学校生活支援シートは、お子様の希望や保護者の願い、学校、家庭地域社会の期待を踏まえ、学校と家庭で共通理解を図るための大切な資料です。家庭での様子や困りごと、保護者の皆様様が大切にされていることを伺いながら、学校での支援につなげていきたいと考えています。

個人面談は、お子さん一人一人の「今」を見つめ、これからの1年間を共に考える大切な機会です。保護者の皆様と同じ思いを共有しながら、たくさんの「できた」を積み重ねられる一年となるよう、教職員一同、丁寧に教育活動に取り組んでまいります。

視覚障害教育部門

主幹教諭 友部 直人

新年度が始まり早1か月が過ぎました。少しずつ担任や友達との関係に広がりが見られ、緊張が緩和され、笑顔が見られる様子が増えてきました。先日行われた部門集会(新入生転入生歓迎会)では、在校生から大きな拍手で迎えられ、期待感を膨らませている気持ちが伝わってきました。また、4・5月には幼稚部・小学部は春の遠足、中学部は美術鑑賞教室があり、友達や教員との関係性を高める行事も計画されています。

さて、視覚に障害のある子供たちにとって「さわる」ことは「みる」こと、「体験する」ことは「知る」ことです。子供たちが着実に成長していけるように、基礎・基本から指導し、子供たちが分かった!できた!という達成感ある学習を目指します。生活面では御家庭と連携し、自立と社会参加に向けた力を身に付けられるようにしていきたいと思っております。

今年度もよろしく願いいたします。

知的障害教育部門 小学部主任

主幹教諭 戸屋あかり

新年度が始まり1か月が経ちました。毎年、この時期は新しい担任、新しいクラスの友達、新しい教室と環境の変化の一番大きい時期です。私は様々な学年に入ることがありますが、学年が上がるにつれ、短い期間で環境の変化を受け入れ、落ち着いて過ごすことができおり、毎日の学習の積み重ねの大切さを改めて感じています。

それぞれの教室からは、集中して教材を見たり、自信をもって課題に取り組んだりする姿が見られます。「分かった!」「できた!」「もっとやりたい!」となるよう教材や授業の工夫に努めてまいります。また5月には個人面談も予定されていますので、御家庭での様子と学校での様子を共有しながら、子供たちの成長のために同じ方向を向いて二人三脚で進められればと思います。

保護者の皆様のお理解、御協力をいただきながら教育活動に取り組んでまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

知的障害教育部門 中学部主任

主幹教諭 藤野 絵里子

新しい生活をスタートさせて早いもので1か月が経ちました。3年生は最上級生として学部を引っ張っていかうとする意識が芽生えてきました。率先して挨拶を交わしたり、自分のことは自分でやろうとしたりするたくましい姿が見受けられるようになりました。2年生は後輩ができ、1年生の見本になろうと、張り切って日々の学習に励んでいます。そんな先輩達に迎えられた新1年生も、中学校生活に慣れ、新しい授業や行事に目を輝かせて元気いっぱいに取り組み、充実した毎日を過ごしています。それぞれ、良い1年のスタートが切れました。

1年生は6月に校外学習、2・3年生は移動教室・修学旅行がそれぞれ予定されており、そこに向けて学年の絆を一層深めていきたいと思っております。

今年度も保護者の皆様のお理解・御協力をいただきながら、学部目標でもあります「将来の自立に向けて」という視点を大切に教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。